

港湾海岸工事業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	防潮堤災害復旧工事現場で、防潮堤背面にバックホウを用いて盛土作業中、退避していた被災者（防潮堤端部の均し作業）が、まだバックホウが後退してこないだろうと思い後退路に入り、足を滑らせ転倒したところ、後退してきたバックホウに足を踏まれた。	64	—
3	14~15	鋼矢板の水中切断作業中（矢板上部をクローラクレーン70t吊に玉掛した状態で、切断箇所上部を10cm程度残し上から下に向かって切断）、下部の切断が終了と同時に何らかの要因で鋼矢板が振れて、既設鋼矢板に左手が挟まれ負傷した。	38	10~29
4	16~17	岸壁に停泊させていた起重機船内において朝からテレビを見たりして寛いでいた。夕方になって波風が強くなってきて起重機船の後方に泊めていた揚錨船をかわそうとして、係留用のナイロンロープ（約30mm径）をビットから外そうとしたときに突然に揚錨船が激しく揺れ、揚錨船のビットと係留用ロープの間に指を挟まれ、左示指先を負傷した。	34	10~29
10	15~16	大型ブロック設置作業の際、玉掛け作業を終えた被災者が、重機の作業範囲内に入ってしまい、作業中の重機のバケット部分に接触した。	57	30~49
11	14~15	砂供給設備のダンパー脇に小石が詰まった為、ダンパーが動かなくなった。詰まった小石を取り除く作業を行っていたところ、詰まった小石が外れた瞬間にダンパーが動き、ダンパーと鉄骨の間に右手を挟まれ、負傷した。	20	1~9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html